

岐阜市の一体的実施

平成24年4月2日事業開始

市とハローワークが連携して、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームにて職業紹介等を実施。

市

市役所庁舎内の提供

① 事業内容

- ・就職支援ナビゲーターより、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームで生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談や職業紹介を実施

② 協定・事業計画

- ・岐阜市長と岐阜労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を岐阜市と岐阜労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。

国

職業紹介・職業相談の実施等



この協定の締結により、生活困窮者の早期就職に向けた就労支援の強化・充実が図られ、自立への支援の一層の強化と利便性向上を実施。

(1) 実施体制

岐阜市

- ・ 面接相談員、就労支援員、キャリアカウンセラー、ケースワーカーを配置

国(ハローワーク岐阜)

- ・ 就職支援ナビゲーター2名を配置
- ・ 求人情報提供用のパソコン1台を配置

(2) 事業目標と取組状況(7年度)

事業内容	事業目標(年度)	取組状況 (令和7年6月末時点)
生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談、職業紹介等の実施	利用者数 2,000名 支援対象者数 180名 就職者数 231名 (参考)前年度目標 ・利用者数 2,000名 ・支援対象者数 180名 ・就職者数 258名 ・就職率 36.7%	利用者数 462名 支援対象者数 41名 就職者数 58名 就職率 19.5% (参考)前年同月実績 ・利用者数 301名 ・支援対象者数 27名 ・就職者数 24名 ・就職率 18.5%

一体的実施事業（岐阜市）による就職成功例

男性：50代 ・希望職種：軽作業

① 求職者の課題

・前職をH14年に離職。その後20年以上就労なし。同居する母親の年金等で生活していたが、R4年に母親が介護施設に入居したことから生活に困窮、R5年に生保となった。

② 紹介の経過

・就労支援開始当初はこちらの質問にはっきり答えず、身なりや頭髪にも頓着しない状態。ただ攻撃的になったり、予約相談日に来所しないといったことはなく、同居している母親の世話を1人で行っていたことから、引きこもり状態ではあるが本来は穏やかで優しい性格であろうことは推察出来た。そのため、自宅での介護経験を活かし人手不足分野でもある介護職などを勧めてみたが、対人関係がとても苦手なため、結果絞り込まれていったのが1人でコツコツと黙々と出来る仕事だった。そうやって具体的に仕事内容をイメージしていきながら、自分がやれそうと思える求人を選定、その次は面接へ、という行動に繋げていった。

③ 結果

・紹介就職 パート マンション共用部の清掃

④ 職業相談員の所感

・高齢の親、無職、自宅で介護、いわゆる8050問題である。PC関連の専門学校を卒業した後、5年程度アルバイトをただけ。フルタイムでの就労経験はなし。また運転免許を有していないことも阻害要因となった。そのため、ただ単に仕事を見つけるお手伝いだけではなく、今の状態をこのまますすめるのか、本当にそれでいいと思っているのかなど、人生で遭遇する様々な経験を積極的に受け止め、これから少しでも変わりたいと自分自身が思ったならば、一步を踏み出せるきっかけやタイミングは、いつでもいくらでもあることを学んだ事例でした。

⑤ 本人のコメント

・「慣れるまで事業所担当者が一緒に業務に付いてくれるなど、親切にして貰っているので安心して働けそうです」と報告に来所。